

凡例

- 一、郷土誌編集の目的は、歴史の流れに立つて、郷土の自然、社会、経済等の実態を明らかにし、その精神を現在及び将来の生活に生かそうとするものである。そして、その編集の態度は、誇張や宣伝や単なる郷土自慢に終つてはならないし、それは、あくまで学問的、実証的立場でなくてはならない。したがつて、史料の蒐集選別には最大限の努力を払つたつもりである。
- 二、史料の搜索、蒐集に際して気づくことは土地の特殊性にもよるが、貴重な史料のある反面、案外古い史料がこの町には乏しいことである。もちろん、これは古記録を中心とした見方であるが、こゝに郷土誌を編集する上の別の立場がある。民族学的研究法等もその一つであるが、本誌においては古文獻を中心とし、これを網羅して編集しようとした。したがつて煩わしいまでに引用を多くし、参考に供した。
- 三、記述のしかたは、大体時代を追つたが、目次に見られるような項目を設定し、それを中心としてその実態に迫ろうとした。郷土誌と銘うつた理由である。項目の選定にはなお問題があるかも知れないが、郷土発展の歴史を概観し、そのポイントを掴むことにはこと欠かないと思つてゐる。また、町の特殊性として毛筆を大きくとりあげたのは当然である。
- 四、文章はつとめて平易にし、親しみやすくするように努力したが、古文獻の引用や、郷土誌の特殊性から生硬に陥つた所もないとは言えない。

目次

発刊を祝して……………	城本勝司
序……………	岩崎喜一
発刊の辞……………	高本正
凡例……………	

- 一、わが郷土……………(一)
- 二、城趾への夢……………(九)
- 三、近世の農民生活……………(三三)
 - (一) 嚴島の領地……………(三三)
 - (二) 村の政治……………(三三)
 - (三) 村高と貢租……………(三三)
 - (四) 農民の生活……………(三三)
 1. 農民と金融……………(三六)
 2. 農民と教養……………(三七)
 3. 農民と衣食住……………(三八)
 4. 生活難澁者……………(三八)
 5. 村追放……………(三九)
 6. 巡見……………(三九)

四、毛筆をめぐる生活……………(九五)

- (一) 熊野筆の由来と毛筆功労者……………(九五)
- (二) 熊野筆の性格とその実態……………(一〇〇)
- (三) 熊野商工会と熊野毛筆組合の変遷……………(一〇五)
 1. 熊野商工会……………(一〇五)
 2. 熊野毛筆組合の変遷……………(一〇六)
- (四) 毛画筆の材料……………(一一〇)
- (五) 毛画筆の種類と製造法……………(一一四)
 1. 毛画筆の種類……………(一一四)
 2. 毛画筆の製造法……………(一一六)
- (六) 筆の選び方と保存法……………(一二三)
 1. 筆の選び方……………(一二三)
 2. 筆の保存法……………(一二四)
- (七) 刷毛工業……………(一二五)
- (八) 毛画筆にちなんだ年中行事……………(一二七)
 1. 全国書画展覧会……………(一二七)
 2. 七夕競書図画大会……………(一二八)
 3. 筆祭……………(一二九)



町 長
城 本 勝 司



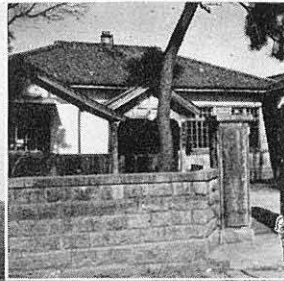
收 入 役
西 村 睦



助 役
榎 崎 薫



町 全 景



役 場

五、信仰の生活

- 4. 全国書道教育研究会……………(二三)
- (外) 毛筆業の展望……………(二三)
- (一) 神 社……………(三三)
- 1. 榊山神社……………(三四)
- 2. 熊野本宮社……………(三六)
- 3. 榊森神社……………(四〇)
- 4. 貴船神社……………(四三)
- 5. 的場神社……………(四四)
- 6. その他の神社、堂……………(四五)
- 追 補……………(四五)
- 一、山の神と水の神……………(四五)
- 二、さえの神……………(五二)
- 三、地 蔵……………(五三)
- 四、稲荷神社……………(五三)
- 五、牛神社、薬師堂、若宮社……………(五四)
- (二) 寺 院……………(五五)
- 1. 光教坊……………(五七)
- 2. 西光寺……………(五八)
- (三) 宗旨しらべ……………(五九)

六、文化と経済の施設

- 1. この時代の背景……………(五九)
- 2. この町の相貌……………(六一)
- (四) 祈 と う……………(六一)
- 1. 虫送りの祈とう……………(六一)
- 2. 治病の祈とう……………(六三)
- 3. 祈とう入用の制定……………(六四)
- (五) 農民と宗教……………(六六)
- 七、年 代 表……………(六八)
- (一) 学 校……………(六八)
- (二) 郵 便 局……………(七五)
- (三) 農業協同組合……………(七六)
- (四) 信用組合……………(七八)
- あとがき……………(七八)
- 業種別会員名簿……………(七八)

熊野商工会顧問



常任顧問
熊野町長
城本勝司



熊野信用組合組合長
馬上次内



伊藤実雄



井原東



三村義人



立道久太郎



熊野町
町会議長
尺田公



熊野町農業協同組合
組合長理事
南崎高市

熊野町議会



監査委員
中川重一



副議長
伊藤源蔵



議長
尺田公



経済委員長
神鳥長男



土木委員長
大瀬戸隆



文教委員長
井原卓蔵



総務委員長
志々田次郎



世良英雄



真島
龜三



井上松男



中村積



立花豊



世良忠義



南崎豊人



の場俊行



藤尾繁実

熊野商工会役員



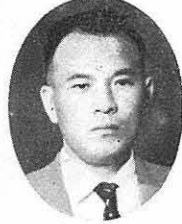
理事
菅田輝彦



理事
神鳥光司



理事
岡田繁一



理事
伊藤源蔵



理事
友岡孝三



理事
友井一衛



理事
時光寛



理事
立花豊



理事
宗像豊



理事
本迫照暁



理事
中井盛人



理事
友岡清



監事
神鳥栄



監事
荒谷鉄治



理事
山中義四郎



理事
宗盛智恵美

熊野商工会



会長
高本正



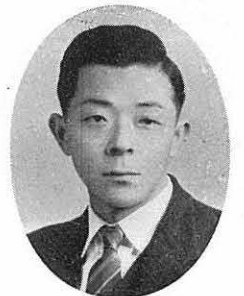
副会長
原田彦士



副会長
井原卓蔵



常務理事
久保田正寛



常務理事
神鳥林右衛門



事務局長
簀本正寛

熊野町教育委員会



教育長
松夫 田 弘



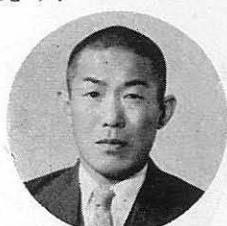
委員長
神鳥 覚 人



委員
友 岡 清

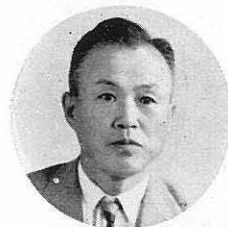


委員
佐々木 久 祐



委員
越 智 清 智

熊野町立小中学校



第二小学校長
田 中 輝 夫



第一小学校長
中 村 義 雄



中学校長
岩 崎 喜 一

